

仕様記述手法セミナー

上流工程を目指す貴社に必須の講座

- 「いかに厳密に手法を記述できるか？」が開発プロジェクトの成功のカギ
- 開発企業の課題である「品質と信頼性の確保」と「業務の効率化」を解決
- 要件定義・仕様検証など上流工程に必須の技術
- 独学では難しい仕様書の作成から実践までを集中解説
- 中堅開発技術者の受講をお勧めします
(マネジメントやプロセス管理に関心のある方にお勧め)

講師

荒木 啓二郎 氏

国立大学法人九州大学 システム情報科学研究院 情報知能工学部門 教授

栗田 太郎 氏

フェリカネットワークス株式会社 開発部2課 統括係長

宮本陽子 氏

株式会社メタテクノ

岡本 勝幸 氏

有限会社イットワークス 取締役

※順不同

会場

琉球大学 産学官連携推進機構 201教室
西原町字千原1番地 琉球大学内 工学部の隣

日程

1日目 1月24日(金) 15:00～18:30(終了後交流会)

2日目 1月25日(土) 10:30～16:00

※1日目、2日目共に出席することが条件となります。

受講料

無料

※ノートパソコンをお持ちの方はお持ち下さい。

主催：株式会社沖縄TLO ☎098-895-1701

後援：IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

協力：国立大学法人九州大学

アーキテクチャ指向フォーマルメソッド研究センター

講座内容

上流工程に対応した技法がわかる絶好のチャンス！

■なぜ厳密な仕様記述が必要か？

- 品質の高いソフトウェアを効率よく開発するためには、正しい仕様の重要性を理解し、厳密に仕様を記述できる手法を学ぶことが必要です。本セミナーでは、「形式手法」により、仕様記述ができる事を目指します。

■どう役に立つのか？

- 上流工程力向上.....厳密な要件・仕様の記述や検証が可能となる！
- 意思疎通力向上.....社内・社外(元請、下請)とのコミュニケーションの円滑化が図れる！
- 開発効率の向上.....欠陥の低減→生産性の向上→開発期間を短縮できる！

■何がわかるのか？

- 仕様重点の理解.....正しい仕様の重要性の理解と形式手法の有用性がわかる！
- 現場導入の理解.....現場での仕様定義で検討すべき事項と計画立案ができる！
- モデル化の理解.....仕様のモデル化の手順と実際の課題がわかる！
- 問題適用の理解.....実問題に対し、形式手法を自身で適用するポイントがわかる！

■プログラム(予定) 講師敬称略

●1日目:1月24日(金)

15:00~15:35 イントロダクション&オリエンテーション(岡本)

15:35~16:35 「ソフトウェア開発における形式的アプローチ」(荒木)

16:50~17:50 「システム開発への形式手法の適用による品質の確保」(栗田)

18:00~18:30 質疑応答、ディスカッション(荒木 他) (19:00~21:00 交流会)

●2日目:1月25日(土)

10:30~10:40 オリエンテーション(岡本)

10:40~11:40 「厳密な仕様記述を志すための形式手法入門」(荒木 他)

13:00~15:15 「モデル化の課題例」(荒木 他)

15:30~16:30 質疑応答、ディスカッション

独立行政法人情報処理推進機構ソフトウェアエンジニアリングセンター(IPA/SEC)との共催により、国内において2012年から2013年の2年間で、全国8か所(札幌、盛岡、東京、名古屋、尼崎、広島、福岡、熊本)で計15回開催され、大変好評を博したセミナーを、沖縄でも開催いたします。ぜひ、この機会に貴社の中堅技術者の受講をお勧めいたします！

お申込み用紙 ※以下ご記入の上そのままFAX下さい

FAX:098-895-1703 (株式会社沖縄TLO宛 送信票不要)

貴社名				
連絡先	TEL		MAIL	
ご氏名		ご所属・ご役職		